

## 日本の「大学」とスポーツ —名古屋大学を事例に—

総合保健体育科学センター  
高橋義雄

## スポーツ(sport)って何だろう？

旺文社『英和中辞典』より

1. スポーツ、運動；(個々の)スポーツ
2. 運動会、競技会、体育会
3. 娯楽、楽しみ、気晴らし、レクリエーション
4. 《口》冗談のわかる人、小才のきく人
5. 冗談、ふざけ、おもしろ半分；いたづら、わるさ、冷やかし、からかい
6. (運命・波風などに)ほんろうされるもの、もてあそびもの；なぶりもの
7. 《口》スポーツマンらしい人；気さくな人、いいやつ、負けっぶりのいい人；おもしろい男；《呼びかけに用い》やあ君
8. 《生》突然変異
9. 《米口》遊び人、ばくちうち；きざな男
10. 《形容詞的用法》スポーツの；(服装などが)スポーツに適した

(日本サッカー協会公認B級指導者講習会資料)

## 「スポーツ」といっても多種多様

- 身体運動文化の総称
- 「遊びの要素に満ちた身体的競争」(A.Guttman)
- 「Sport」「Exercise」「Physical education」
- 「競技性(Game)を伴った身体運動形式」
- 開国以後、西欧から伝播した運動文化
- 開国以前から行なわれていた運動文化

## 西欧のスポーツの普及過程 —Footballの場合—

- 中世イギリスの民俗フットボール(1314年のフットボール禁止令)
- 1848年共通のルールの誕生(ケンブリッジルール)
- 1863年Football Associationの誕生
- パブリックスクールのOBチームから教会のスクール、パブ、企業労働者、クリケットクラブを中心にクラブ誕生。  
アーセナル、マンチェスターU(労働者)、エバートン(教会)、ダービーカウンティ(クリケットクラブ)、レスターシティ(パブリックスクール)

## 英国から国境を越える過程

- 「1880年以降、イギリス・スポーツは、エリート階級と上層中流階級の若者によってヨーロッパ大陸に持ち込まれた」(ルート・ストークフィス)
- 1872年イングランド対スコットランド(公式国際試合)
- 1888年イングランドサッカーリーグ結成
- 1900年ドイツサッカー協会設立
- 1904年FIFA設立
- 1919年フランス・サッカー協会設立
- ラテン・アメリカ(ブラジル・アルゼンチン...)に進出するイギリス人からイギリス人学校に通う現地少年へ
- 1873年日本に伝わる(ダグラス海軍少佐が東京築地の海軍兵学校で)
- 学校制度の果たした役割

## 日本のスポーツふたつの流れ

- 幕末期にオランダやフランス式の新兵訓練法
- 1872(明治5)年「学制」公布 欧米の体操を翻訳した「体操」が導入される。(教師の資質で実質不可能)
- 1878(明治11)年 体操伝習所の設置 体育教員養成、アメリカのアマースト大学の体操法を選定し、リーランドが来日。(スポーツ種目は正課ではなかった)
- 1882年 連合体操会...学習成果の発表場所
- 1885(明治18)年に東京師範学校付属体操伝習所となる。遊戯の指導を行なう→高等師範学校と改称
- 1885年 『戸外遊戯法』坪井ら スポーツ教材
- 1886年 学校令 体操科 普通体操・兵式体操・遊戯
- 1913年 学校体操教授要目 体操・教練・遊戯・撃剣・柔術
- 1926年、1936年学校体操教授要目改正 36年には日本語化。

## 高等教育機関とスポーツ

- 大学における課外活動の奨励
- 1883年「競走及其他ノ競遊会」、1884年「走舸組大競漕会」・・・水陸の運動会 陸上競技会とボートレースへ
- 1886年「運動会」設立・・・運動用具の貸し出し及び競技イベントとしての運動会の開催 校友会・運動会・体育会へ
- 1877年東京大学→1886年帝国大学、1897年京都帝国大学、1907、東北帝国大学、1911年九州帝国大学
- 1918(大正7)年には大学令が公布され、公私立及び単科の大学の設置:北海道帝国大学(1918)、**愛知医科大学(1920)**、

## 戦前の愛知県の身体教育

- 明治期に導入 (中央→地方、上級学校→中学校)
- 愛知県師範学校(1876)(現:愛知教育大)
- 名古屋高等工業学校(1905)、第八高等学校(1908)、名古屋高等商業学校(1921)名古屋帝国大学(1939)、岡崎高等師範学校(1945)→「中学校先駆型」
- 愛知英語学校から愛知県中学校(1877)へ、1893年柔術・講談・野球・競技各部設立、1899年愛知県第一中(現:**旭丘**)と改称、1917年第三回全国野球大会で優勝(東海5県連合大会)、相撲、1928年蹴球準優勝
- 愛知二中(1896:明治29年)開校(現:**岡崎**)  
同年:豊田佐吉、木製動力織機発明、新橋・神戸間急行運転。
- 中学校の校友会中心(学校側の教育的期待)

## 愛知医科大学・第八高等学校・名古屋高等商業学校・ 岡崎高等師範学校のスポーツ

- 高等教育機関の相互の交流試合・競技会  
高専大会
- 独自のイベントとしての運動会
- 全学組織としての校友会、校友会
- 地域との交流、地元の下級学校との交流
- 外国人指導者
- ナショナルレベルの“選手”・・・清川正二(愛知四中(現:時習館)、名高商、東京商大  
1932年ロサンゼルス五輪 100M背泳ぎ金メダル)

## 戦後の名古屋大学のスポーツ(60年代)

- 全名大としてチーム編成
- 分散したキャンパス
- 名古屋大学体育会(1956年発足)
- 活躍する運動部
- 大学紛争・学生運動の影響  
→運動部員以外の参加を募る
- スポーツ普及活動
- 大学当局との交渉
- 正課としての体育講義・実技

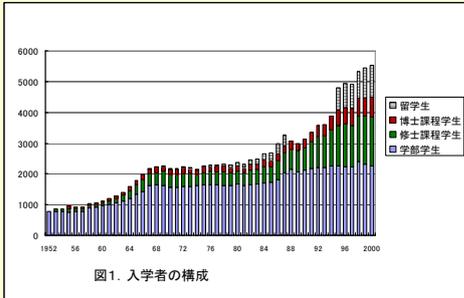
## 70年代の体育会

- 私立大学の台頭
- 部員の減少
- スポーツサークルの誕生
- 運動部員の体育会会員の意識の乖離
- 第一次変革期
- →積極的な事業展開、社会交流、マネジメントの意識
- 新しい運動部の誕生(スポーツの多様化)
- 女子学生の運動部員誕生

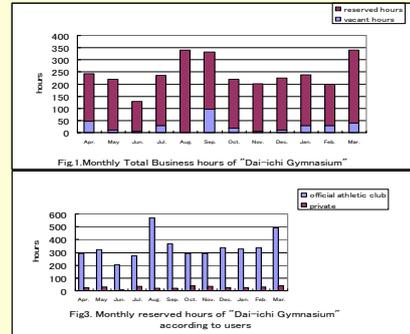
## 80年代以降の体育会

- 競技力の低迷
- 『濃緑』のスタイルが自由に
- 体育会の組織改革 常任委員を一般会員に開放
- 体育会会長賞(総長から顕彰)
- 大学の変化と大学スポーツシステムの変革(多様な学生形態、留学生、教職員、地域社会・・・)

## 名古屋大学構成員の変化



## 施設の利用状況



## 名古屋大学のスポーツの課題

- 貧困な施設
- 多様性のない運動部 チームからクラブへ
- 情報が少ない
- トップアスリートが身近でない
- 学生の運動欲求に見合うサービスの必要性
- 資金の捻出方法
- 学外との連携、地域貢献

## 海外の大学とスポーツ

- アメリカの大学  
→ 正課体育、レクリエーション・スポーツ、イントラミューラル・スポーツ、インターカレッジ・スポーツ  
充実した大学でも重要な組織 (Department of Athletics)  
NCAA: 大学スポーツの取りまとめ機関  
[Harvard University](#)
- ヨーロッパの大学 → 地域スポーツクラブが中心  
[Oxford University](#)
- 充実した運動施設、学生・スタッフの福利厚生  
地域開放、経営努力

## 近年の日本の大学の動き

- 大学の認証評価: 社会連携  
健康・体力づくりや仲間作りへの期待  
ローコスト・ハイリターン、ハイリスク(教員の負担増、劣悪なサービス→評判!) 「**知の転移**」をとまうか??
- 国立大学法人  
Jリーグと提携: 東京学芸大、埼玉大  
地域貢献: [筑波大学](#)、[鹿屋体育大](#)、[横浜国立大](#)、[東京大](#)
- 私立大学 → 大学経営へのスポーツの利用  
adidasのスポンサー契約: [早稲田大学](#)  
Jリーグと提携: [静岡産業大](#)  
地域貢献: [早稲田大学](#)  
体育会強化: [早稲田大学](#)、[立命館大学](#)

## 旧帝大の東京大学の事例

### 各種大会・講習会

学内者を対象としたスポーツ行事として以下のものがあります。  
バレーボール大会、総長杯野球大会、総長杯サッカー大会、伊豆・戸田マラソン大会、学内レガッタ、御殿下記念館バスケットボール大会、ロッククライミング講習会、ダンス講習会、ゴルフ講習会、水泳教室、スケート講習会、ボウリング講習会、馬術講習会、グライダー体験会、スキー講習会、  
**「大人のためのサッカー教室」**  
運動会ホームページ等を注意して見るようにしてください。  
[東京大学運動会](#)

## 名古屋大学のスポーツの将来

<背景>

国立大学法人化、大学経営の裁量範囲の拡大  
大学の役割も社会の変化とともに変容する

どんなシステムが最適か、歴史を踏まえ考えてみよう。